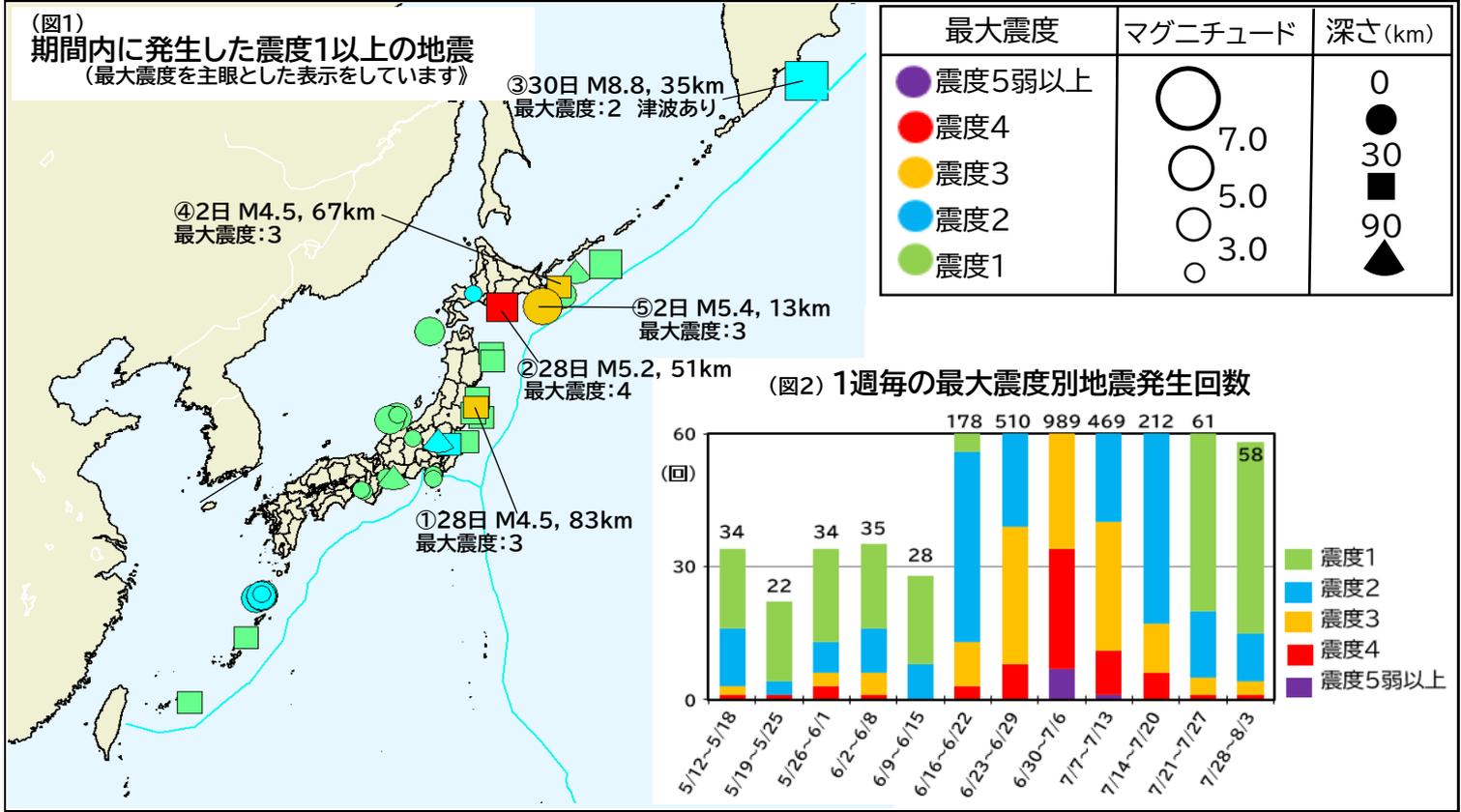


この期間の最大震度は4(十勝地方南部で発生) カムチャツカ半島沖の大地震で津波

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典: 気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が58回発生。最大震度は4(十勝地方南部で発生) カムチャツカ半島沖の大地震で津波観測 ■
- ①7月28日02時03分に福島県沖で発生した地震(M4.5、深さ83km)により、宮城県石巻市・涌谷町で震度3を観測したほか、東北地方と茨城県で震度2~1を観測。
- ②7月28日12時10分に十勝地方南部で発生した地震(M5.2、深さ51km)により、北海道浦河町・更別村で震度4を観測したほか、北海道を中心に東北地方北部にかけて震度3~1を観測。
- ③7月30日08時25分にカムチャツカ半島沖で発生した地震(M8.8、深さ35km)により、北海道釧路市・釧路町・厚岸町・標津町・別海町で震度2を観測したほか、北海道から鹿児島県にかけての広い範囲で震度1を観測(トピックス参照)。
- ④8月2日06時18分に根室半島南東沖で発生した地震(M4.5、深さ67km)により、北海道根室市・中標津町で震度3を観測したほか、北海道で震度2~1を観測。
- ⑤8月2日07時27分に釧路沖で発生した地震(M5.4、深さ13km)により、北海道根室市で震度3を観測したほか、北海道で震度2~1を観測。
- トカラ列島(悪石島近海の地震): この期間震度1以上を観測した地震は、震度2が7回、震度1が16回の合計23回。6月21日から本日12時までに震度1以上を観測した地震は表のとおり2246回。

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	合計
回数	1479	557	151	51	4	3	1	2246

トピックス

- カムチャツカ半島沖の地震 ■
- ・30日にカムチャツカ半島沖で発生したM8.8の大地震によって発生した津波は、岩手県久慈港で最大1.3mを観測したのをはじめ、沖縄県までの広い範囲で観測されました。現在でも各地で小さな津波が観測され続けています。
- ・日本から離れた所で発生する津波は、津波が発生した所から日本に向かって直接来る津波だけではなく、海底や陸地の地形によって反射したりして伝わる津波が重なり合って複雑な動きとなり、最初に伝わる津波ではなく第2波、第3波など後続の津波が最大となったり、長い時間続く特徴があります。
- ・今回の津波では、地震が発生したカムチャツカ半島東方の沖合いにある、天皇海山列と呼ばれる海底地形やアリューシャン列島、さらに南米海岸などで反射したものが日本列島に伝わって来ています。
- ・この付近では、7月20日から地震活動が活発化しており、7月20日にM7.4の地震が発生し、M8.8の地震が発生するまでにM6.0以上の地震が数回発生していました。いわゆる前震一本震一余震タイプの活動です(図3、図4)。
- ・この地震は、太平洋プレートが北アメリカプレートの下に北西方向に沈み込むことにより発生した逆断層型の地震です。

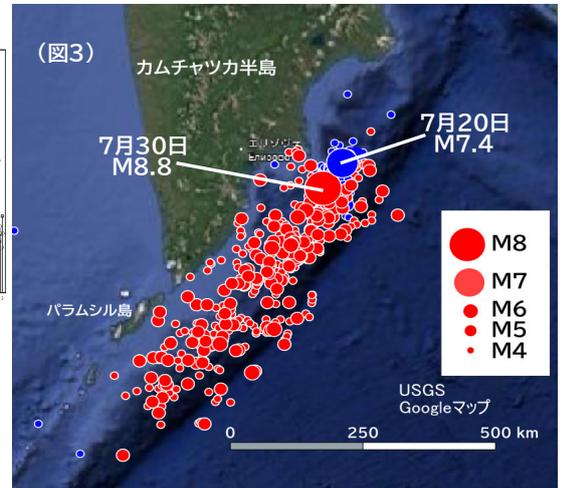
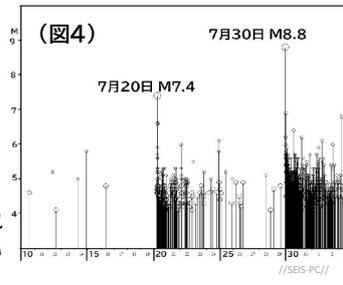


図3: 震央分布図2025/7/10---8/3 M≧4.0 USGSによる
●M8.8以降 ●赤丸以降
図4: 地震発生状況図(M-T図) 期間は図3と同じ
横軸:時間 縦軸:M